

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

<先週の説教から>

『ルカ ④ 一何のための安息日?』

武田真治牧師

レビ記 23:1~3 ルカ福音書 6:1~11

今日の箇所は何かと疑問を起させる箇所です。先ず「ある安息日に、イエスが麦畑を通って行かれると、弟子たちは麦の穂を摘み、手でもんで食べた。」とありますが、どうしてこんな行動を弟子たちはするのかという疑問です。お腹が空いていたにしても見ず知らずの人の畑で、勝手に麦の穂を採って、食べるなんて、まさに『泥棒だ』と言われても仕方がない行為でしょう。案の上、この行動に対してユダヤ教のファリサイ派の人々が咎めて来ました。それが『なぜ、安息日にしてはならないことを、あなたたちはするのか』でした。しかし、この言葉も疑問です。なぜなら、弟子たちの盗みを咎めるなら分かりませんが、安息日を破ったという点で非難しているのですから。

確かに、安息日には一切の仕事を休まなければなりません。が、この弟子たちの行為は、①麦を摘む=刈り入れの仕事をした、②手でもんだ=脱穀の仕事をした、と2つの仕事をしたことになるからです。確かに、旧約の律法には、安息日を破る者は死刑にされると言われていますが、しかし、ここでこの弟子たちの行為は本当にささやかな違反であり、それを大きく取り上げて、大問題だと騒ぐ姿は、有罪にするための理由を必死になって捜しているように思えます。逆に、ファリサイ派の人達の“頑なさ・歪さ”を見るのではないのでしょうか。

実は旧約の申命記 23 章 25 節では、貧しい者は「隣人の麦畑の穂を手で摘んで食べても良いが、鎌を使ってはいけぬ」とあり、弟子たちの行為は罪に問われないのでした。この後、イエス様はそのファリサイ派に対して『ダビデが自分も供の者たちも空腹だったときに何をしたか、読んだことがないのか。神の家に入り、ただ祭司のほかにはだれも食べてはならない供えのパンを取って食べ、供の者たちにも与えたではないか。』と、サウル王から命を狙われ、逃げていた時のダビデの行動について触れられ、特別な時には少々の律法違反は赦されるべきであり、ささいな事(=この時、ダビデたちが取ったパンはたったの5個だった!)に目くじらを立てることの“偏

狭さ・傲慢さ”を指摘されたのでした。その上で(ダビデより遥かに権威を持つ者として)『人の子(=イエス様)は安息日の主である』という重要な言葉を語られたのでした。

実は、ここで批判されていたのは「弟子たち」でした。それなのに、イエス様が表面に出て、ご自身からファリサイ人たちに言葉を返しておられます。これは明らかに、そんなことをしてしまった弟子たちをも庇い、守っておられる姿なのです。

考えてみれば、私たちもいつも周囲からの批判の目に晒されているながらも、為していることと言えば、愚かで自分本位の行動ばかりです。『それでもクリスチャンか? 牧師か?』と言われても仕方がないことばかりです。しかし、実はそんな私たちをイエス様は愛し、守って下さり、庇って下さり、先立って戦ってくださることを忘れないようにしたいです!

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 4月23日(水) 20:00
II. 4月24日(木) 10:30

聖書研究: ローマの信徒への手紙

祈祷主題: 教会総会を覚えて

担当者: (水) 飯田 (木) 小林

祈りに覚える人: 圓谷さん 鶴巻さん

*ひつじ雲の会 4月28日(月) 10:00~

【教勢報告】

主日礼拝 男17 女51 計68

祈祷会 I. 男4 女2 計6 II. 男1 女8 計9

日曜学校 幼稚科2 小中科17 計19

【次週主日礼拝】 4月27日(日)

聖書: 詩編 51:1~11

ルカによる福音書 15:21~24

説教: 「詩編 51④一私を雪よりも白くして

ください!」 武田真治 牧師

讚美歌: 333(1)、32、451、444、520、

【次週当番表】 83(1)

司式: 飯田長老 奏楽: 須田 礼拝: 金刺長老

献金: 小草 長村 受付: 金刺 坂田

会堂準備: 大野 勝村 黒澤 鶴巻

西尾

看板: 中村 週報: 飯島 お花: 飯島

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後: ・教会総会

2025年 4月 20日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>